

人事 Lab ヒトコトラボ

Vol.2 ～就活生の保護者の本音～

株式会社静岡新聞社 柴拓巳

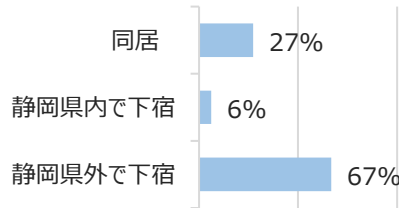
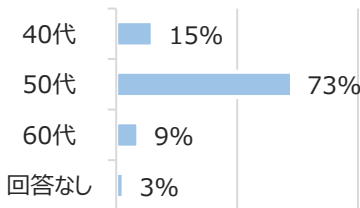
プロフィール：2021年新卒で入社した社会人2年目。Uターン就職組。地域ビジネス推進局生活情報部に所属し、新卒企画全般に携わる。高校時代はバレー部に所属。身長186cmなのにポジションはセッター…。夏はサッカー場・冬はスキー場によく出没する。



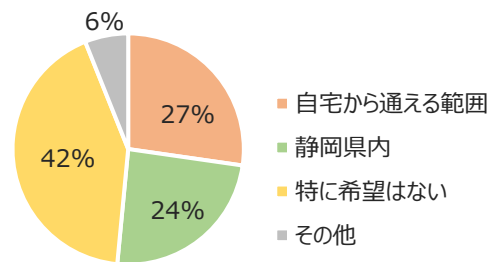
静岡新聞社では、大学（院）、短大、専門学校就活生を対象にした就職情報サイト「新卒のかんづめ」を運営し、Web、イベント、新聞などで情報発信をしています。その活動の一環として、「新卒のかんづめ保護者 LINE」を運営し、LINEを通じて保護者の方への情報発信や、質問を寄せていただいています。

第2回の「ヒトコトラボ」では、保護者の方の悩みについてご紹介させていただきます。アンケートは2022年4月下旬、LINEを通じて実施し、約40の方に回答いただきました。

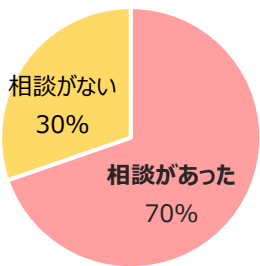
回答者データ



お子さまの就職先への希望

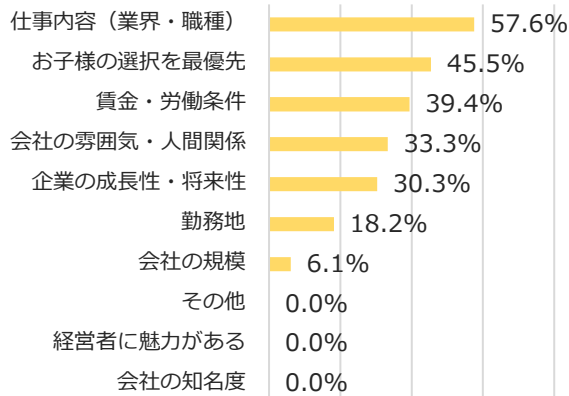


■ お子さまから就活に関する相談がありましたか



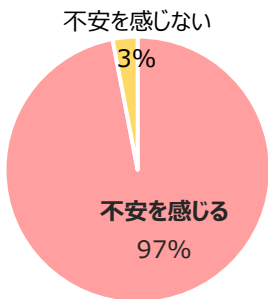
「県外にいるため地元の情報がほしい」「複数社内定をもらった際の悩み」「企業研究や面接対策」などの記述があり、地元就職の情報や企業選定で悩んだ際の相談、対策面など、就職活動全般に関して保護者に相談している学生が多いことがわかりました。

■ 就職先のアドバイスをする際に保護者の方が重視するポイント（複数回答可）



【会社規模より仕事内容】お子様に就職先のアドバイスをする際に重視するポイントは、会社規模が6.1%に対し、仕事内容が57.6%と高い結果になりました。また、お子様の選択を最優先と答えた方は45.5%、賃金・労働条件、会社の雰囲気なども30～40%で高いことがわかります。

■ 保護者の皆様が、お子様の就職活動について不安を感じますか



【不安に感じていること】

- ・外部環境の変化が著しい為、就職への影響が心配
- ・関東の大学なので、学校から就職先を紹介してもらえない。
- ・過剰な連絡もできず常に心配。
- ・オンラインだけで決まってしまうところもあり、実態が掴みにくい。
- ・3月スタートになっていますが、早々に内定を出している企業がある。
- ・就活の流れがわからない。
- ・本人からの話がないのでどう関わったらいいのか分からず不安を感じる
- ・コロナ禍の厳しい求人数。子供の大学での学部が専門的なのでそちらの方向に行けなかった時にどうするのか。
- ・静岡市内で働きたいようですが、運動部なると、コロナの影響で、静岡に帰るのが困難で、ネットのみの活用になってしまう。
- ・子供は現在大学1年生ですが、今から何をしておくべきか全くわからないのが不安です。
- ・自分が就く仕事を理解できているのか？理想だけで決めていないか？

保護者の方々は、お子様の就職活動に対して様々な不安を感じています。中でも、どこまで関与していいか、お子様との距離感に悩まれている親御さんが多い印象です。親目線のアドバイスや意向は早い段階で伝えながらも、子供の意思を尊重し、見守ることをお勧めしています。一方、採用側の視点として、親の影響が強まる現在の新卒市場では、学生だけでなく親世代へのアプローチの仕方も検討する必要があるかもしれません。

問い合わせ：静岡新聞社 地域ビジネス推進局 生活情報部「 新卒のかんづめ」Tel:054-284-9018

